

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	鉄筋コンクリート造建築物耐久設計研究賞委員会	主 査 名：梶田佳寛
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	1999 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	「鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針(案)・同解説」を作成する。 1999 年度～ 2000 年度 鉄筋コンクリートの耐久性に関する研究の現状調査 2001 年度～ 2002 年度 性能規定型指針の本文・内容の検討 2003 年度 指針の本文・解説の作成	
委員構成 (委員名(所属))	梶田佳寛(宇都宮大学)、野口貴文(東京大学)、和泉意登志(八洋コンサルタント)、 大越俊夫(日本設計)、鹿毛忠継(国土技術政策総合研究所)、兼松学(東京大学)、 河野政典(奥村組)、黒田泰弘(清水建設)、里山公治(鹿島建設)、長尾覚博(大林組)、 並木哲(大成建設)、長谷川寿夫(北海道大学)、湯浅昇(日本大学)	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2003 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	1999 年度～ 2002 年度 計 51 回(延べ 405 人回) 2003 年度 17 回(延べ 134 人回)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針(案)・同解説」の制定 および講習会の開催  目次 1 章 総則、2 章 耐久設計の方針、3 章 設計劣化外力、 4 章 設計限界状態および維持保全限界状態、5 章 性能検証型一般設法、 6 章 標準仕様選択型設計法、7 章 施工・品質管理、 8 章 維持管理・維持保全、付録 耐久設計例 判型・頁：B5 判、228 頁
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)  当初の計画より 1 年遅れたが、予想を超えるレベルの指針を作成することが出来た。
その他評価すべき事項	